

◆活動団体

団体名： NPO法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会

連絡先：TEL 0855-22-2709 メール：hisashi.seian@brown.plala.or.jp

URL：

◆平成28年度  
活動内容

(「夢街道ルネサンス」平成27年度認定から今日までの歩み)

1 「夢街道ルネサンス」認定記念「まちづくり交流会」の開催

(1) イベント企画の背景

平成27年度は、「観光交流人口の増加による地域の活性化」を目標に国土交通省中国地方整備局「夢街道ルネサンス」の地区認定を目指して活動してきた。その結果、豊かな歴史的資源と物語性が評価され「平成27年度新規認定」の決定を受けた。

平成28年度からは、このトレイルルートの認定を機に中心市街地の活性化を推進する第一歩として「市民協働の取組み」が重要と考え、「『夢街道「浜田城… 江戸から明治へのみち」』認定記念・まちづくり交流会」のイベントを開催して、広く市民に対し「市民協働のまちづくり活動」を呼びかけた。

① イベントの開催日 平成28年7月31日

② 参加者 市民等の参加者 約400人

☆ 反省点

① 広報活動が十分に行き届かなかったこと。

② イベント開催の当日が全国高校総合体育大会（浜田市：体操競技）と重なり、市民の多くが公開練習会場に流れたこと。

☆ 課題

① 広報活動の見直し、メディア活用の研究。

② 会場設定に係る広域的な催事情報の収集が必要。

(2) 「まちづくり交流会」の内容と市民の反応

① 本イベントの開催に当り、次の二つを織り込んで企画した。

ア. NPO法人のコンセプト「芸術文化の潤いと感動に充ちたまちの創造」をイベントを通し市民に体感していただくこと。

イ. 市民が芸術文化の魅力に触れながら相互の連帯感を深め「市民協働のまちづくり活動」に取り組む動機付けとなること。

結果として、市民の芸術文化に対する反応は意外に低く、参加者数もおおよそ400人程度と少ない結果になった。

② イベントの結果には落胆したが、その後多くの市民から「イベント配付資料」を求める人が増加し、「夢街道「浜田城… 江戸から明治へのみち」」のパンフレット2,000部は完配の状態となり、当NPO法人会員の増加にも繋がったと思う。イベントに経費を掛けて申し訳なく思っていたが、「市民協働のまちづくり」に取り組む私どもの姿を市民は見ていると感じた。

2 「市民協働のまちづくり」推進にむけた組織体制の確立

(1) 昨年7月31日の「まちづくり交流会」開催以後当NPO法人の活動が市民の話題となり、「夢街道「浜田城… 江戸から明治へのみち」」のパンフレットを求める人が急増した。平素、組織体制の確立が課題であった当NPO法人としては、この機を逃さず会員獲得の活動を開始した。とりわけ浜田市の社会経済の衰退に危機感を持つ理事長の精力的な働きかけにより、秋深まる頃には会員が急増し50名の組織構成となった

☆ 成28年度当初の会員数 10名（個人8・団体2）

☆ 成29年2月末現在会員数 50名（個人18・団体32）

(2) 当NPO法人としては、引き続き活動の主体となるパートナーシップの構成による持続可能な活動体制の構築に取り組むこととしている。

## 〈イベントの開催状況〉



理事長岡田久樹のご挨拶



浜田市長のご挨拶



ふるさとコンサート「世界の名曲」



浜田の次代を担う「子供神楽の競演」



まちづくり交流会を楽しむ市民

